

学会企画シンポジウム 3

通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある子どもたちへの支援

——病弱児と自閉スペクトラム症のある児童生徒への支援に焦点をあてて——

企画・司会・話題提供：谷口 明子（東洋大学）

企画・話題提供：別府 哲（岐阜大学）

話題提供：田中 亮 氏（長野県公立小学校）

話題提供：里中広美 氏（北海道公立小学校）

指定討論：奥住秀之 氏（東京学芸大学）

企画趣旨：

2007年に特別支援教育が開始されてから15年が経過し、多様な教育的ニーズのある子どもたちが通常の学級に籍を置き、日々学んでいる。では、通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある子どもたちをどのように支援することが望ましいのだろうか。研究動向としても通常の学級における支援への関心の高さが指摘されているにもかかわらず（菊池，2019）、教育心理学理論を背景とする具体的な支援の在り方や、支援実践から構築された新たな理論について十分に検討されたとは言い難いのが現状である。本シンポジウムでは、通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある子どもたちへの支援について、Minorityの中のMajorityともいえる自閉スペクトラム症のある児童生徒と、従来検討されることの少なかった病弱児への支援に焦点を絞り、あらためて問い直したい。